

# 心の栄養剤No150-1「節分の由来」「恵方巻のルール」

## 【節分の由来】

**2月3日は「節分(せつぶん)」**ですね。節分とは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に、1年に4回あったものでした。ところが、日本では立春は1年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

立春を1年のはじまりである新年と考えれば、節分は大晦日(おおみそか)にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に陰陽師らによって旧年の厄や災難を祓い清める「追儺(ついな)」の行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していきました。

京都ではこの時期、表鬼門にあたる「吉田神社」と裏鬼門にあたる「壬生寺(みぶでら)」の節分祭がことに有名で、厄除節分会の期間中は大勢の人でごったがえします。

節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残り、「**魔の目(魔目=まめ)**」に豆を投げつけて「**魔を滅する(魔滅=まめ)**」に通じるということです。豆まきは一般的に、一家の主人あるいは「年男(その年の干支生まれの人)」が豆をまくものとされていますが、家庭によっては家族全員で、というところも多いようです。

家族は自分の数え年の数だけ豆を食べると病気になるはず健康でいられると言われていました。



## 【恵方巻のルール】

**恵方巻きは、江戸時代から明治時代にかけての大阪の花街で節分をお祝いしたい、商売繁盛を祈ったのちに始まったといわれています。**

### 【恵方巻きのルールその1。恵方をむいて食べる事！】

まずはその年の恵方をむいて食べることです。神様がいらっしゃる、恵方をむいて、食べている間はその方向だけを見ること。よそ見をしてはいけません。そうでないとご利益を得ることが出来ないそうです。



**今年、2018年の恵方は「南南東やや右」**。みんなで「**南南東やや右**」をむいて恵方巻きを食べましょう！

### 【恵方巻きのルールその2。恵方巻きは黙って食べる事！】

恵方巻きを食べるときは、黙って食べましょう。食べ終わるまで黙って食べないと、ご利益を得ることが出来ないそうです。丸ごと食べ終わるまで、静かに恵方巻きを全部食べましょう。もちろん、恵方巻きを食べ終わった後は、家族やお友達と楽しくおしゃべりを楽しみながら、残りの食事をしてください！

### 【恵方巻きのルールその3。恵方巻きは一気に食べる事！】

恵方巻きを食べるときは、上品に切り分けたりせず、一本をがぶっと一気にいただきます。途中で休んだりすると、やはりご利益がなくなってしまうそうです。食べる前に恵方を向き、深呼吸。食べ終わるまでそのままの方向を向き、一気に一本いただいでください！一気に食べるのが大事なため、お子様用は少し細めに巻くといいです。

## 心の栄養剤No150-2「感動、感謝での受験」

埼玉県的女子中学生川口瑠美子さんが、石川県輪島市の日本航空石川高校の推薦入試を受けようと会場に向かう途中、大雪の新潟県で立ち往生してしまった。

「もう間に合わない」。同時に夢は「終わった」と思った。母とともに立ちすくむ静かなホームで、涙が止まらなくなった。泣いている瑠美子さんを母が「絶対あきらめない」とたしなめた。そして、長岡駅を出た母は娘にヒッチハイクを提案した。瑠美子さんは車が通りかかるたびに傘を振り回して合図。吹雪の中を約2時間半歩き続けた。

午前4時半、ガソリンスタンドで給油している大型トラックが目に入った。運転手の男性に駆け寄った。神戸に行くという運転手は「金沢までなら」と乗せてくれた。「同じ中3の娘がいる」と言う運転手はヨコヤマと名乗った。夜が明けるところ、金沢に入った。

「よし、輪島まで行っちゃる」とヨコヤマさんが突然、向きを変えた。

母と瑠美子さんが会場に着いたのは午前9時。試験開始のわずか10分前だった。途中の経過をずっと携帯電話で聞いていた浅川正人副校長は、試験に間に合わなかったときの対策も考えていたという。ヨコヤマさんは「がんばれよ」と励まして去って行った。連絡先は教えてくれなかった。

また、試験の作文の題は「私が感動したこと」でした。瑠美子さんは、大反対しながら懸命に励ましてくれた母のこと。遠回りして会場まで送ってくれたヨコヤマさんのこと。「**人の優しさにふれることができ、感動、感謝、他にも色々と感じることができ、良かった**」と懸命に書き上げた。

後日、合格通知が届いた。真っ先にヨコヤマさんに知らせたかったが、連絡先はわからない。瑠美子さんは「**感謝の気持ちを周りの人に少しずつ返していきたい**」と思ったそう。そして、さらにその後、高校はトラック運転手を捜し出し連絡。運転手は「ああ、良かった」と心から喜んでいる様子だったという。

この経験で川口さん親子は、高校合格以上の財産を手に入れられた事になります。

「善の循環」という言葉があります。

「善」は水車のように回るという意味で、はじめ誰かが善の一步を踏み出すと・・・次々と善が回り始め、だんだん大きくなっていくという意味です。

(残念ながら「悪」も同じだそうです！)

私も日々、善の循環の水車を回す一人だと意識して過ごします！

P. S.

今年の節分は、意味を勉強しましたので～超・久しぶりに

(厄年の豆まき以来)豆まきやって恵方巻をしっかり頬張ります！

